令和３年度第１回クラブ連絡会 記録

令和３年６月２８日（月）

参　加　者（順不同・敬称略）

尾形　敦子（NPO 法人かみジョイ）
大類　志織（NPO 法人かみジョイ）
本田　智子（NPO 法人アクアゆめクラブ）
田代　由季（いしのまき総合スポーツクラブ）
齋藤　忠　（NPO 法人ラソススポルチクルービ）
遠藤　良則（NPO 法人スポーツコミュニケーション・かくだ）
阿部　圭吾（東松島市教育委員会生涯学習課）
髙橋　茉梨絵（Good すぽーつ東松島）
赤間　律子（NPO 法人むらたスポーツクラブ）
尾崎　皇士郎（柴田町総合型地域スポーツクラブ）
佐藤　慶治（一般社団法人 LittleFlag 準備団体）

広域スポーツセンター
佐藤　尚人　　佐藤　浩一　　田口純一

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

みなさん，こんにちは。時間になりましたので，クラブ連絡会を始めたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

今日は，事前に行ったアンケートの結果をもとに，次の５つのテーマでお話を伺いたいと思います。

①中学校部活動支援　②介護予防・健康増進　③子どもの体力向上　④障害者のスポーツ参加　⑤スポーツによる地域の活性化

これらのことについて，すでに実施していることやこれからやりたいことなどをお話ししていただければと思っていますので，よろしくお願いいたします。

＜中学校部活動支援＞

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

まず，中学校部活動支援についてですが，実際にやっているところはありますか？まだですね。アンケートでは，**ラソス，スポコムかくだ，Good すぽーつ東松島**から「中学校部活動支援をやりたい」という回答がありました。本日は参加していませんが，**A・HA 仙台**も部活動の受け皿として活動に取り入れたいと考えているようです。**ラソス**では，どのようにやろうと考えていますか？お話しください。

齋藤（ラソススポルチクルービ）

私たちはサッカーとフットサルを中心とした総合型クラブですので，地域の中学校のサッカー部をサポートしていければなあと考えています。ただ現状として近隣の中学校のサッカー部は部員数も多くて，学校の先生方も部活動指導に熱心なので，私たちがサポートするといっても現状では難しいのかなと感じています。「令和５年度から休日の部活動を地域で指導する」という国の方針とは逆の現実があるようです。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

よく分かりました。今のお話を聞いて，学校が国の施策を理解して学校主導で進めないと無理なのかなと思いました。**かみジョイ**ではどうですか？

尾形（かみジョイ）

学校部活動の支援ということで今年度のお話をします。小学校のときにスポ少で器械運動をしていた子がいるのですが，中学校には器械運動部とか体操部がありません。でも，その子は中学生になっても器械運動を続けたいという希望を持っていました。今までは，小学校のときにやっていたスポーツを続けたくても，それが中学校の部活になければ違うスポーツを選ぶのが普通でした。でも，スポ少でサッカーや野球やバレーボールをやってきた子たちとはスタートラインが違うので，同じスタートラインに立てるソフトテニスやカヌーを選ぶ子が多かったのです。今年の子は，器械運動を続けたいということで，中学校ではかみジョイに所属して活動していることを「総合活動部」という名の部活動として認めてくれることになりました。総合活動部の中にはピアノや水泳やボーリングをやっている子もいます。中学校に行っても今までやっていたスポーツや音楽などを続けられる環境づくりがようやく始まったところです。

阿部（東松島市教育委員会生涯学習課）

東松島市では教育長が総合型クラブで部活動を見てもらいたいという考えが強いということを聞いています。現状では，今ある部活動の指導者を探すことも課題だとは思いますが，**尾形さん**がおっしゃったように，今まであった部活以外の種目にスポットをあてるというのも **Good すぽーつ**のいい活動になりそうだなと思いました。

遠藤（スポコムかくだ）

スポコムかくだでは総合型として部活動に関わるということではなくて，昨年認められたスポーツコミッションを通して部活動に関わっていくというスタイルを考えています。角田市の取り組みは教員の働き方改革ではなくて，「子どものための部活動の見直し」ということで昨年秋に着手しています。大変重要な課題なので焦る必要はないだろうと思っています。時間をかけて少しずつ進めています。具体的には７～８月に部活動に関わる懇談会や検討委員会（専門チーム）を立ち上げて，さらに進めていこうと考えています。私たちも含めてそこに関わる人たちにとって情報が少ない中でどのように進めていくかということも課題になっています。文科省・スポーツ庁や宮城県がどんなスタンスをとるのかなど，視野を広げて情報を集めて取り組んでいきたいと思います。すぐに指導を始めるという段階ではありません。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

県内ですでに行っているのは，気仙沼の**カラット**や**面瀬クラブ**、**しわひめスポーツクラブ**があります。特に**しわひめ**は，中学校の部活動部員が全員クラブの会員になるという形で行っています。これから始めるところは，まだまだいろいろな課題がありそうですね。

南三陸で総合型クラブを立ち上げようとしている**佐藤慶治さん**，南三陸では中学校部活動についてはどうしようと考えていますか？

慶治（南三陸 Little Flag）

今設立準備中の **Little Flag** の佐藤です。部活動支援は視野には入れていますが，町の役場からはクラブが設

立されたら体育協会とスポ少の事務局を任せたいという話が来ています。それとのかかわりで，スポ少から部活動支援に進めていけないかと考えています。ただ具体的にそこのマネジメントをどうするかについては課題が山積です。例えば、だれが指導するのか？今青年部の方々が夜間卓球をやっていますが，そこに卓球部が混じっています。しかし，卓球ではできても種目ごとに差が出ないようにどうしたらよいのか？そこのところを体育協会の方々がどう考えているのかとか，スポ少の方がどう考えているのかなど，まだ分からない状況です。クラブが設立されたら部活も取り込みたいとは思いますが。

尾崎（柴田町総合型地域スポーツクラブ）

柴田町総合型地域スポーツクラブの**尾崎**です。部活動支援に関してはうちのクラブでもいずれやらなければならないだろうという話は出てはいますが，具体的にはまったく進んでいない状態です。柴田町では現在総合体育館の建設が計画されているので，それと関連して体育協会か総合型クラブどちらかがその運営をしていきながらいろいろな活動を考えていくことになると思うのですが，それもまだまったく決まってはいない状態です。

田代（いしのまき総合スポーツクラブ）

石巻ではスポーツ協会としても**いしのまき総合スポーツクラブ**としても現状では部活動の受け入れ態勢はできていません。

本田（アクアゆめクラブ）

七ヶ浜町ではまだ話が全然出ていなくて、総合型に来るのであれば**アクア**の場合は体育協会とスポ少の事務局を持っているので、中学校でも続けられるような種目の教室を開設して準備を始めたところです。具体的には，今までなかった小学生のソフトテニス教室を作りました。調べてみると，だいたいの競技はサッカーや野球などスポ少やクラブチームなどがあって中学校の部活につながるのですが，ソフトテニスだけは小学生が参加できる場がありませんでした。保護者の方からも「小学生のうちから始めさせたい」という要望もあったので今回立ち上げることになりました。

齋藤（ラソススポルチクルービ）

お話を聞いていて，進んでいる地域と私たち仙台市との差を感じました。仙台市では先生方が積極的に部活の指導をされているという話も伺っているので，令和５年度からどう移行させていくかまったくわかりません。急に地域に移行しますよと言われたときに困るのは生徒たちだと思います。学校の話なので，もう少し行政側からの働きかけが必要なのではないかと感じています。仙台市ではどのように進めていこうと考えているのかまったくわかりません。仙台市スポーツ振興事業団でも教育委員会からの情報がないということでした。教育委員会とスポーツの部局が連携をとって情報提供をしてほしいと願っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

みなさん，ありがとうございました。学校部活動の受け入れというのはたくさんの課題があると思いますので，私たち広域スポーツセンターでも県内に限らず情報を集めて皆さんに提供したいと思います。

＜介護予防・健康増進＞

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

次は，スポーツでの介護予防・健康増進というテーマでお話を伺いたいと思います。今回のアンケートでは３４クラブから回答をいただいたうち９クラブが介護予防や健康増進についての記載がありました。基本的に総合型クラブの目的の中にこういったことがあるので，みなさんも取り組んでいるとは思います。今回参加できなかったクラブでは，例えば仙台の**向陽台クラブ**では「遊びの天国」というイベントの中に「薬剤師による薬相談コーナー」や「地域包括支援センターによる各種相談コーナー」を設けてみたという報告がありました。また，丸森町の**スポーツクラブ大内**では，健康な体作りのための「歩こう会」や「健康運動教室」を開催しているそうです。では，**アクアゆめクラブ**の**本田さん**，アクアでは町からの委託事業で介護予防を行っているということですが，どんなことを行っているのかお話しください。

本田（アクアゆめクラブ）

はい。要支援２の方でも参加できる体操教室を実施しています。いわば要介護状態にならないためにいかに水際で食い止めるかという教室です。ですから，本人が入りたいからといってだれでも参加できるわけではなくて，町の保健士さんと相談をして認められた方だけが参加できる体操教室です。クラブとしては週４回１クラス１０人程度で体操とか脳トレなどを行っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

他に行政から委託されて行っているところはありますか？

遠藤（スポコムかくだ）

かくだでは直接そういった分野でのプログラムはやっていませんが，その手前の段階の「成人スポーツ教室」でいろいろなプログラムを展開しています。今のところはジュニアと成人が中心なので，それが軌道に乗った段階で介護も視野に入れていきたいと考えています。

尾形（かみジョイ）

うちは，１３年くらい前に町の包括支援センターから介護予防事業を委託されて３年間くらいやっていました。その教室をそのまま残して，今はクラブでシニア体力アップ教室という形でやっています。そのとき７０代で始めた方々が今は８０代になって来ています。

赤間（むらたスポーツクラブ）

町からの委託事業はありません。クラブ独自では，一般の方を対象とした体力測定を町の推進委員との共催事業として毎年実施しています。それぞれの体力を数値化して全国平均と比較していただいて，今後自分の運動の目標を立てるのに使ってもらっています。また，そのデータを使って，どういった運動が自分に向いているかを決める材料にしてもらっています。例えば，柔軟性を高めるにはこんな教室がいいとか，筋力アップにはこんな教室がいいですよというように，クラブの側からみなさんに声がけして教室にお誘いすることで参加者を増やそうという取り組みを行っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

今の話を聞いて，**東松島市生涯学習課**の阿部さん，行政の立場で何かお考えはありますか？

阿部（東松島市教育委員会生涯学習課）

行政にもできることとできないことがあるのですが，**Good すぽーつ東松島**がどんどん充実・発展すれば，行政ではできない事業をやってもらうことができるんじゃないかと期待しています。先ほどの**むらたスポーツクラブさん**のお話を聞いていて思ったのですが，例えば，体力測定事業はうちの生涯学習課でもやっているのですが，測定をするだけでその次につなげる事業がありません。ですから、そこにつながる事業を総合型クラブや体育協会でやってもらえると介護予防や健康増進につなげていけると思いました。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございました。行政ができないところを肩代わりするところが総合型クラブの一つの役割でもありますから，ぜひ行政から受託して事業をやってみたいというクラブがありましたら，**アクアゆめクラブ**に話を聞いてみてはいかがでしょうか。

今日は参加されていませんが，**スポーツクラブみなみかた**の活動をご紹介します。このクラブは，行政区単位で加入するという形をとっているのですが，その行政区に出かけていく「出前健康教室」というのをやっています。要望に応じて「転倒予防体操」とか「ヨガ教室」「ニュースポーツ教室」など，クラブに来てもらうのではなくてクラブの指導者が出かけて行って実施しています。高齢者対象の事業ならではの取り組みだと思います。どのクラブでもできることではありませんが，ぜひ参考にしていただければと思います。

＜子どもの体力向上＞

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

先日のアンケートの結果を見ると，子どもを対象にやってみたい事業があるという回答がたくさん寄せられていました。今日参加していないところでは，登米市の**蔵っこ**は「地域のスポーツ少年団と共存していきたい」と回答していますし，同じく**よねやまスポーツクラブ**では「放課後の子どもたちの遊びの場を提供したい」という考えがあるようです。

本日参加しているところでは，**アクアゆめクラブ**が「未就学児を対象とした体操教室（コ・オーディネーショントレーニング）を町の子育て支援センターを会場に企画したい」という希望を持っているようです。あとは，**スポコムかくだ**が「スポーツ食育教室をやりたい」という計画があるようです。これは，栄養の知識だけでなく，野菜作り，親子料理教室などを含む食育ということらしいです。また，**いしのまきスポーツクラブ**では，「子どもたちが外に出てさまざまな運動体験ができるような事業を企画していきたい」と考えています。さらに，**柴田町**では「タケノコ掘りや竹馬づくり体験，田植え体験などの文化活動を取り入れた小学生向けイベントをやっていきたい」と考えているようです。

今，実際にこういうことに取り組んでいるクラブは意外に少ないです。体力テストや体力アップ教室，キッズスポーツ教室などは行われているのですが，ひとつちょっと面白い例があるのでお話ししてもらいます。**ラソス**の**齋藤さん**，「英語でスポーツ」の紹介をお願いします。

齋藤（ラソススポルチクルービ）

はい。「英語でスポーツ」というのは，子どもたちにフリースポーツをすべて英語で伝えていくという教室で

す。スポーツ留学支援をおこなっている「**ブリッジ**」という団体の代表の方にコーディネートしてもらっています。具体的には，仙台市在住のネイティブスピーカー（英語が母国語）のコミュニティに繋いでもらって，対象は下は５歳から上は小学校３年生までです。すべて英語で体を動かしていく。そのときに必要な言葉をそうやって覚えてもらうというものです。また，連想ゲームで子どもたちが学校の授業で使うような単語を覚えていくという活動もあります。これを始めて半年くらいなので，定期会員はまだ少ないです。ただ「スポーツやりましょう」というだけでなく，小さいうちから海外の方の容姿や言語に触れることでバリヤーを取り払い，今求められている「多様性」ということに寄与するのではないかと考えて取り組んでいます。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

質問ですが，これは他のクラブの方でやってみたいという希望があったら，やれる雰囲気ってありますか？

齋藤（ラソススポルチクルービ）

ブリッジさんは，一緒にやっていくパートナーを探していますので，私に連絡を頂ければ繋ぎたいと思います。他のクラブのプログラムに参加することができれば，喜ばれると思いますのでぜひご検討ください。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

今のお話を伺って，興味を持たれた方はいらっしゃいますか？

阿部・髙橋（Good すぽーつ東松島）

今，齋藤さんのお話を伺いながら，**Goods すぽーつ**でもできるならやってみたいという話をしていました。

佐藤・慶（南三陸 Little Flag）

ブリッジさんは，過去にうちが住友生命の助成金を受けるときにお会いして話をしたことがあります。今も，面白い活動をしてるなあと思いながら聞いていました。子どもたちの活動としてただ単に「体力向上」だけでないところに目を向けるところが新鮮ですね。それに似た活動としては**気仙沼市**の市役所に**ランブリッジ**さんというところから「スポーツ合宿誘致」の話がありました。地元の子どもたちと遠方から合宿に来た子供たちの交流事業をやりませんかということです。それが**関係人口**に結び付くのではないかということで市から相談を受けていたところでした。そういう体力向上プラスアルファで別地域の子どもたちとの交流や語学などを組み入れていくと，関係人口にも繋がって地域課題の解決にも結び付いて行くのかなと思いました。

※関係人口とは，観光客以上・定住者未満の存在として地域と深い関わりをもつ人々。その地域が好きで頻繁に行き来する人（ボランティアなども）や，地域内にルーツがある人，過去に住んでいた・働いていた人など，その地域に対して強い思い入れがあり地域づくりに参加する意思のある人々。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

他にも，**かくだ**の「食育」も面白いと思うのですが，これは具体的なプランとしてはできているのですか？

遠藤（スポコムかくだ）

食育に関するプログラムでは，まず「お米をだいじにしよう」というのがあります。体力の源は炭水化物＝お米であるというところから考えたことです。昨日田植え体験会を実施しました。近所で田んぼを提供してく

れる農家さんがいまして，周りの田んぼはすでに５０ｃｍくらいに伸びているんですけど，そこの田んぼは栽培を遅らせている関係から，昨日は多くの子どもが泥んこまみれで田植えを体験することができました。子どもは２５人で親を含めると６０人以上の人たちが参加しました。みんな泥だらけで，田植えなのか泥遊びなのか分からないような状態でしたが，楽しく作業を終えることができました。この取り組みは理科教室でもあるのですが，秋になれば稲刈り体験会をして，できればできたお米でおにぎりを握って食べるところまでやれればいいかなと考えています。さらにその締めくくりとして１２月にその稲わらでしめ縄づくりをする予定です。料理に関しては，コロナの影響もあり今年度はまだ難しいかなと思っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

かなり進んでいるようですね。**スポコムかくだ**は，クラブの事務所が合宿所で調理室も備えているので，恵まれた環境の中で活動ができるというのが強みですね。宿泊施設も体育施設もそろっているので，みなさんのクラブで子どもたちを連れて行って活動することも可能だと思います。

遠藤（スポコムかくだ）

残念ながら現在はコロナの関係で，施設は利用できるのですが宿泊はできない状態です。いずれ解除になれば，県内のクラブの方々にスポーツや学習会などでご利用いただければと思っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

自分のところだけじゃなくて，そうやって交流するのもいいかもしれませんね。

柴田町さん，アンケートに**かくだ**の取り組みと近いことが書いてあったのですがいかがですか？

尾崎（柴田町総合型地域スポーツクラブ）

今の**かくだ**さんの話を伺って，うちでもまさに文化的活動と融合させた取り組みをやってみたいなとすごく思っています。ただ，うちのクラブは行政との繋がりが強い関係から行政の考え方とすり合わせが必要になります。例えば,「タケノコ掘りとか竹馬づくりなどは生涯学習課が子供会育成会でやるような内容であり，スポーツクラブがやることではないのではないか」と反対されている面もあります。私としては，**遠藤さん**がおっしゃったように，田植えをして稲を育て，稲刈りをしてお米を作り，それを食べるところまでやるという体験を通して，食の大切さやお米を作ることの大変さなどを考えさせることに繋がるのではないかと思っているので，将来的には取り組んでみたいと思っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

遠藤さん！**かくだ**では，今**尾崎さん**がお話しされたような行政との関係のハードルみたいなものはなかったのですか？

遠藤（スポコムかくだ）

行政との関係でいえば，ハードルと言えるものはまったくなくて，むしろ教育委員会には大変お世話になりながらクラブの事業展開ができています。その恩返しというわけではないのですが，教育委員会ができないことをクラブが事業としてやっていくということもだいじにしています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

さきほど遠藤さんの話の中にしめ縄づくりというのが出てきましたが，**かみジョイ**さん！たしか「ものづくり教室」をやっていましたよね。

尾形（かみジョイ）

はい。「なんでもチャレンジ広場」という毎月１回ものづくり体験をする教室を開催しています。そこでは，１２月になるとしめ縄づくりをやります。それとは別に，以前子どもたちに毎月いろいろな体験やスポーツをしてもらう教室をやっていたのですが，地元でしめ縄を作っているおばあちゃんたちにお願いして，１２月になると，その子どもたちにしめ縄づくりをさせたことがあります。できたものを持って神社で心入れをしてもらうところまでやりました。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

かくだの遠藤さんのところで作ったしめ縄の写真もあるそうなので，見せてもらえますか？

それぞれの地域で作り方も違うし，教えてくれる地元の先生たちもたくさんいることでしょうから，そういうのでクラブ間の交流ができるといいですね。

さて，子どもの体力向上の話にもどって，**むらた**ではどうでしょうか？**赤間さん**お願いできますか。

赤間（むらたスポーツクラブ）

むらたでは子どもたちの体力向上のために特別に始めたわけではないのですが，昨年からスタートした子どもたちの「かけっこ教室」が大変好評です。放課後に児童館に来る子どもたちに，隣接した体育館で保護者の方が帰って来るまでの間，クラブがかけっこのコツを教えています。また，それ以外にも柔軟性を高める運動やトレーニングもあってとても人気です。今は子どもたちの口コミや保護者のＳＮＳで広がって会員も増えました。体力づくりのために始めたわけではないのですが，１年を通してやっていると，足の運びが上手になったり体の動かし方を覚えたりするようです。今はそのかけっこ教室を広く周知したり，活動場所も屋外にしたりして力を入れている教室の一つです。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございました。**アクアゆめクラブ**の**本田さん**，未就学児を対象とした体操教室をやりたいということでしたけど，具体的に進んでいますか？

本田（アクアゆめクラブ）

まだ具体的には進んでいません。これは，小さいお子さんをお持ちのお母さんたちから，「小さいうちから体の動かし方を教えてもらいたい」という要望があったので，クラブでなんとかできないかなと考えてはいるのですが，なかなか講師の方が見つからないのが現状です。いい方がいたらぜひご紹介ください。お願いします。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

講師を紹介しあうというのは総合型クラブでは大事なことだと思います。私たち広域スポーツセンターでも，講師のリストを作って仲介したいと考えています。つい最近もヨガと薬膳のインストラクターさんを開拓しました。すでに川崎町の運動笑学校でヨガを教えている方ですが，どんなことができるかを今まとめてもらっていますので，みなさんにもご紹介できるのではないかと思います。

子どもの体力向上について他にありますか？

遠藤（スポコムかくだ）

子どもの健康・スポーツ・遊びという分野では「角田版アクティブチャイルドプログラム」というのに取り組んでいます。笹川スポーツ財団とスポーツコミッションが連携して，就学前の子どもたちに運動・スポーツ・遊びのプログラムを提供するというものです。就学前の年齢層の子どもたちに楽しく体を動かすということを習慣化させるということ。それが小学校・中学校，やがて大人になったときに体を動かすことが苦にならないむしろ楽しいものであるというところまでもっていければと考えています。今日の午前中も市内の幼稚園で仙台大学の原田先生の指導で年中・年長の子どもたち対象に楽しくリレー遊びをすることができました。アクティブチャイルドプログラムは，日本スポーツ協会がスポーツ少年団向けに展開しているものですが，就学前の子どもたちに体を動かすことが楽しいことだと体感してもらうためのものです。そこには，体力向上だとか数値化されたものはありません。とにかくスポーツや運動というよりは楽しむことが目的です。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

くわしく知りたい方は遠藤さんにお話を聞いてみてください。**いしのまき**の**田代さん**のところでもやりたいということでしたが，これは進んでいますか？

田代（いしのまき総合スポーツクラブ）

秋ぐらいに実施したいと考えて，健康推進課の協力で食育などを計画中です。あとは，子どもたち対象の定期教室がけっこうあるので，体育やトランポリンやダンス教室などですが，他にもおもしろいことがあればお聞きしたいと思ってアンケートに書きました。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

今の**田代さん**の話に限らず，何か情報を知りたいとか情報があるぞとかいうときには，ぜひ広域スポーツセンターまでご連絡ください。前にもご紹介したと思いますが，全国に１０数人しかいないアスリートフードマイスター１級の資格を持っている方が仙台にいらっしゃるのですが，総合型クラブの活動にもご協力いただけるということなので，必要のあるときは私までご連絡ください。

では，子どもの体力向上については，最後にまとめて田口の方から少し話してもらいます。

田口（広域スポーツセンター）

二つご紹介をしたいと思います。先ほど**むらた**の**赤間さん**から，取ったデータをもとにその人に向いている教室にお誘いをするという話があったのですが，子ども対象の教室運営などにもデータを有効に使えるのではないかと思います。学校では小学校１年生から高校３年生まで毎年「体力・運動能力テスト」と「学校保健調査」を行って，データを蓄積しています。宮城県は全国的にみると，体力・運動能力はかなり低いし，全国でもトップクラスの肥満児県です。今日参加してもらっているクラブの所在地でいうと，一番低いのが仙台市で５～６％。わりと高いのは南三陸町です。このデータは県の HP でも見られますが，くわしくはそれぞれの市町村教育委員会がデータを持っていて，学校ごとの数値も出てきます。そういうデータを知ることでどんな教室が必要なのか考えたり，行政に対しての事業委託を持ちかけたりする材料になるのではないでしょうか。

もう一つは，塩竈市が平成２９年から行っているアフタースクール事業「わくわく遊び隊」です。これはスポ少に加入していない１～３年生を対象に，放課後に遊びを通して運動に親しんでもらおうという取り組みです。具体的な内容としては，走る・投げる・跳ぶを中心とした遊び，太鼓，器械運動，伝承遊び，ダンス，中学生との遊びなどです。市内６つの各小学校ごとに運営委員会があり，地域コーディネーター，学校関係者，ＰＴＡ，町内会，体育協会，総合型クラブ（塩竈ＦＣ），生涯学習課などが連携して運営しています。もちろん**遠藤さん**がおっしゃったように，遊びを通して楽しく体を動かすことが目的なのですが，数値的にもさきほど紹介した体力・運動能力テストの結果や肥満児の割合に良い変化が表れてきているそうです。一つのクラブで担うには負担が大きいと思いますが，こうやって地域全体で子どもたちの健康増進とか体力向上を進めていくことは大切なことだと思います。5月２８日に行われた県のスポーツ指導者研修会でも発表してもらったので，くわしく知りたい方は広域スポーツセンターまでお問合せください。

＜障害者のスポーツ参加＞

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

次のテーマは「障害者スポーツ」についてです。県内の総合型クラブで障害者スポーツに取り組んでいるところはかなり少なくて，教室として実施しているところは３クラブくらいです。これは，考え方の違いだと思うのですが，障害者を健常者と区別しないという意味であえて障害者の教室を作らないというクラブもあります。それだと障害者の方からすれば参加しにくいということもあるようです。そこで，**ラソス**の**齋藤さん**のところの取り組みをお話ししてもらいたいと思います。

齋藤（ラソススポルチクルービ）

まだ正式にスタートしているわけではありません。私たちのラソスソサイチ＆フットサルフィールドを使っていただいているお客様で，障害者の自立支援施設，大人の方が社会的自立を図るために活動している施設ですが，そこの方にお話を伺ったことがあります。そのときに，比較的若年層の障害者の方で高血圧や高脂血症の薬を飲んでいるような人たちがいるという話を聞きました。障害者スポーツとして見たときに，低年齢のスポーツの場はあるように感じたのですが，中高年の障害者を対象としたスポーツ教室ってあまりないように思います。そこで，障害者の自立支援施設と連携して障害者の方々に向けたプログラムをラソスとして取り組んでいこうと考えています。手を挙げてくださった施設が３つあるので，まずはそこの方々を対象に活動を始めていくための準備段階です。今年の９月か１０月にはスタートしたいと思っています。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございました。私たち宮城県スポーツ協会は宮城県障害者スポーツ協会ともつながりがありまして，その関係でボッチャの普及推進事業を**スポーツクラブみなみかた**で始めようとしています。ただ，総合型クラブからすれば，活動するための施設がないと難しいということもあると思います。その際は，例えば**齋藤さん**の**ラソス**にまぜていただくことは可能だと思います。あらためて，障害者スポーツに目を向けていただけたらと思います。他のクラブはいかがですか？

佐藤・慶（南三陸 Little Flag）

特に障害者スポーツに取り組んでいこうというところまでの意識はまだありません。もちろん専門じゃないということもありますし，町内で障害者のために動いている団体があるのか分からないということもあります。ただ，クラブというよりは社会福祉施設や社会福祉協議会と共同で毎年１０月に「走り切らない運動会」というのを行っているのですが，これは高齢者対象であり，障害者まではまだ手が回らない状態です。

本田（アクアゆめクラブ）

秋に「手をつなぐ親の会」という団体と共同で「とっておきの運動会」をやっています。障害者の方とその親御さんとで楽しむ内容になっています。それを年に１回実施するくらいしかできていないのが現状ですね。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございました。広域スポーツセンターでも障害者スポーツについて情報を集めて発信していきたいと考えていますので，よろしくお願いいたします。

＜スポーツによる地域の活性化＞

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

では最後に「スポーツによる地域の活性化」というテーマでお話を伺いたいと思います。これは総合型クラブの大きな目的にもなっていると思います。**むらたの赤間さん**さんどうですか？

赤間（むらたスポーツクラブ）

今，もう一つくらい新規の教室を開拓したいと考えています。それとマンネリ化防止の対策に取り組みたいと思っています。「体力向上」や「健康増進」といった目的をもって実施している教室も，内容が「ヨガ教室」というように限定的になっていると，長くやっているうちにマンネリ化していくのでどうしたらよいかが悩みです。たとえば，コロナもあって一番の目玉商品だったヨガ教室の今年の会員数が激減して半分以下になってしまいました。内容のマンネリ化もあると思いますし，スタートが遅れて教室の開催期間が短くなってしまったことも原因なのかもしれません。みなさんのクラブでは会員さんに継続して登録してもらうことや，教室のリニューアルなどについてどのように工夫して進めているのか，お聞きしたいなと思います。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございます。スポーツによる地域振興については，町をあげてスポーツを通した街づくりをしている**かくだ**さん，今どんな取り組みをしているのかお話しください。

遠藤（スポコムかくだ）

角田は「３ない地域」と言われています。高速道路のインターチェンジがない，主要国道も通っていない，JR も通っていない。ないないづくしの中で，スポーツ施設だけが他の町に比べると充実しているので，スポーツ施設を用いた町おこしを目指しています。

今，クラブでは市の取り組みと連動して活動しています。一昨年できた「道の駅かくだ」は，スポーツ施設に隣接した全国でも数少ない道の駅で，スポーツ施設をどのように生かしていくかということをテーマにしています。その一つに，スポーツコミッションがあります。これは，スポーツ庁が推進しているスポーツを通じた町おこしというものです。全国に１５０以上あって，宮城県では仙台市と角田市の二つです。その取り組みの事務局を**スポコムかくだ**が担っています。ですから，スポーツコミッションの活動を通して町の活性化やさまざまなプログラムを展開していくということになります。そこには生涯学習課，誘致企業，仙台大学，道の駅，**スポコムかくだ**などが中心的にかかわっていて，それ以外にも市内の多様な団体が構成員として参加していろいろな知恵を出し合って活動しています。総合型クラブだけでは力不足で大きな力を発揮することは難しいので，いろいろなところとかかわりを持つことで，スポーツを中心にいろいろな分野に広がりを見せています。スポーツってどんなものにもつがなっていくものなので，それを通して町づくりを進めているところです。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

ありがとうございます。**遠藤さん**がおっしゃっていたように，いろいろな人や団体の力や知恵を借りることでクラブにかかる負担も減ることになると思います。もっと知りたい方は遠藤さんに直接お聞きになってください。

では，最後に佐藤浩一から情報提供をさせていただきます。

佐藤・浩（広域スポーツセンター）

私からは登録認証制度についてお話しします。以前ご説明に伺ったときと申請書類の９番目・ガバナンスコードのところが変わりました。メール（５月２６日）でもお知らせしましたが,「スポーツガバナンスコードの概要とウェブ登録について」を確認していただき，来年の申請のときまでに団体登録手続きをお願いしたいと思います。具体的には「スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞」に掲げられている（１）国内のスポーツ団体の情報を検索・閲覧する（２）団体情報を登録・公表する（３）自己説明・公表確認書を発行する，という３つのことをやっておいていただきたいと思います。toto 申請するところは必須となりますし，来年度登録制度に申請するところも必要となりますので，よろしくお願いします。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

みなさん，おわかりいただけたでしょうか。もし，分からないことがあれば広域スポーツセンター・佐藤浩一までお問合せください。

では，最後に今日のクラブ連絡会の感想をみなさんから一言ずつお願いしたいと思います。

髙橋（Good すぽーつ東松島）

Good すぽーつ東松島の**髙橋**です。私は６月に就任したばかりで何も分からないので，どこか受け入れていただけるところがあれば，ぜひ視察をさせていただきお話を伺いたいと思っています。よろしくお願いします。

阿部（東松島市教育委員会生涯学習課）

すごくいいお話をたくさん聞けたので，参加してとてもよかったと思います。できれば次回も参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

赤間（むらたスポーツクラブ）

今日はお世話になりました。クラブでは，以前からニュースポーツの種目としてボッチャを年に一度は開催してきました。パラリンピックの種目でもあるので，今年は「エンジョイスポーツ」というだれでも参加できる教室の活動として７月２３日のスポーツの日にボッチャの体験会を開催する予定です。子どもから高齢者まで，障害のある方ない方誰でも参加できますので，興味のある方はぜひおいでください。また，何か相談したいときには，よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

佐藤・慶（南三陸 Little Flag）

うちはまだ設立準備団体なので「これをやっています」とは言い難いですけれど，県内のいろいろなクラブの先輩の方々の取り組みが聞けたので，それを参考にしながら行政の方々とも協力してなんとか今年度中には設立できるようにがんばりたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

尾形（かみジョイ）

私は今回初めてこの Zoom ミーテイングを体験させていただきました。今日いろいろなクラブの事業の様子をお聞きして，うちでもそれを参考にしてやれたらいいなと思いました。ただ，今はコロナの関係でいろいろな制限があって，今までだと２０人は入れた部屋でも半分にしてくださいと言われたりして，なかなか参加人数を増やすことができないという難しい状況です。でも，それにめげずにがんばっていきたいと思います。今日はありがとうございました。

大類（かみジョイ）

今日はありがとうございました。**尾形**も言っていたように，**かみジョイ**でも参考になるお話がたくさん聞けたと思っています。個人的な業務の話になりますが，４月からクラブのインスタグラムの担当になりまして，今はホームページとフェイスブックとインスタグラムを活用しております。加美町では，まだまだ総合型クラブに対する認知度が低いため，これらを使って認知度向上に役立てたいと思っています。みなさん，今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

齋藤（ラソススポルチクルービ）

本日は貴重なお時間を頂き，ありがとうございました。ふだん活動の中で，自分が考えていることがこれでいいのかなと悩むことも多いのですが，毎回この会に参加させてもらって皆さんとお話しすると，これでよかったのだと確かめることができます。ありがとうございます。別件ですが，今サッカーのアジアチャンピオンズリーグがウズベキスタンのタシケントというところで開催されているのですが，そこにフィリピンのユナイテッド FC というチームが参加しています。そのチームの中に，かつて私が指導にかかわった選手がいます。私がサッカーを指導して２０年くらいになるのですが，これからも世界に飛び出していける選手を育成していきたいと思っています。そして，ここから J リーグクラブを作っていきたいと思っていますので，みなさんからお知恵を拝借して活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

遠藤（スポコムかくだ）

かくだのクラブが平成２０年に設立されて平成２７年に法人化して今に至っています。その中で総合型クラブって何だろう？と日々考えて活動しています。国の施策など周りがいろいろと変化していくなかで，これこそうちとしての総合型クラブの取り組みだ！と明らかにするまでが，**かくだ**での私の仕事かなと思って取り組んでいます。何がいいんだろう？何が必要なんだろう？と日々考えてすごしています。還暦を過ぎて，２年が経ちました。そろそろゆっくりしたいなという感じもありますので，後継者を育てて，少し距離を置いて総合型クラブを考えたり，活動の支援にまわったりというようなことを考えております。本来は一堂に会して皆さんとお話し合いできればよいのですが，今日は画面を通してみなさんのクラブの様子やお考えに接することができました。貴重な時間ありがとうございました。

本田（アクアゆめクラブ）

うちのクラブは，立ち上げ当初からすると会員数が年々減少傾向にあるので，みんなで知恵を出し合って模索している日々です。今日，みさんのお話を伺ってぜひ参考にさせていただきたいと思ったことがたくさんありました。今日，休日出勤してよかったなと思いました。ありがとうございました。

田代（いしのまき総合スポーツクラブ）

他のクラブのみなさんのお話を聞かせていただいて，大変参考になりました。何かありましたら直接問い合わせさせていただきたいと思いますので，よろしくお願いいたします。また，うちのクラブでもご協力できることがあればさせていただきますので，お声がけください。今日はありがとうございました。

尾崎（柴田町総合型地域スポーツクラブ）

うちは私が事務局を一人でやっておりまして，教室もかかえていますので，ふだんだとなかなかこういう会には参加できないのですが，今回こうして参加できてたいへん参考になりました。うちのスポーツクラブでやっていることは，まだまだ狭い範囲でやっているんだなと感じました。今日伺ったお話を受けて，地域の健康づくりなどスポーツクラブとしての幅を広げていけたらなと思いました。今日はありがとうございました。

佐藤・尚（広域スポーツセンター）

みなさん，ありがとうございました。実は**ラソス**の**齋藤さん**がコーヒーの焙煎をやっているとか，**いしのまき**の**田代さん**がやっているシナプソロジーがおもしろいとか，私が生徒であるおやじランニング教室の師匠が**遠藤さん**だとかということもあります。「一緒にこんな教室をやりたい」とか「こういう講師がいないか」とかクラブ同士で連絡を取り合って楽しいクラブを作っていただきたいと思います。

今日はみなさんほんとうにありがとうございました。